第３節　介護保険データから見る現状

介護保険の指標の中から、要支援・要介護認定の認定率及び居宅・施設サービスの利用状況を取り上げ、狛江市と他区市町村との状況の比較を行いました。

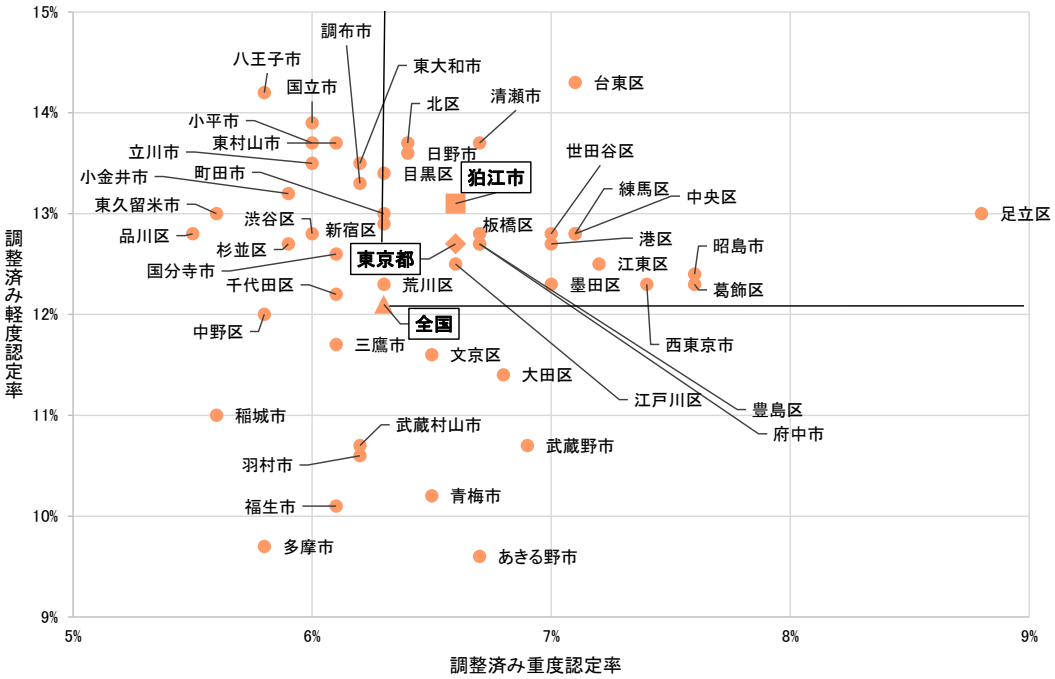
１　介護保険データ

(1) 要支援者･要介護者の状況分析（地域包括ケア「見える化」システムより）

平成31（2019）年の狛江市の第１号被保険者の要支援・要介護認定率は19.7%となっていますが、年齢の誤差を除いた要支援１～要介護２の調整済み軽度認定率は13.1%、要介護３～要介護５の調整済み重度認定率は6.6%となっています。

全国と比較して東京都は重度・軽度ともにやや認定率が高くなっていますが、狛江市は東京都と比べて軽度認定率の割合が高くなっています。（図３-23）

図3-23 調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布



（時点）平成31(2019)年
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

○全国	（軽度認定率:12.1%	重度認定率:6.3%）
○東京都	（軽度認定率:12.7%	重度認定率:6.6%）
○狛江市	（軽度認定率:13.1%	重度認定率:6.6%）